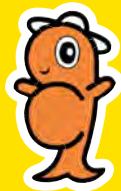




野田村



土砂災害・洪水 防災マップ

○この防災マップは、**土砂災害と洪水の避難場所**を示すために作成したものです。

○土砂災害による警戒区域や特別警戒区域、河川の氾濫等による浸水想定区域等を示していますが、**ここに示された地区以外も被害を受ける可能性があります。**

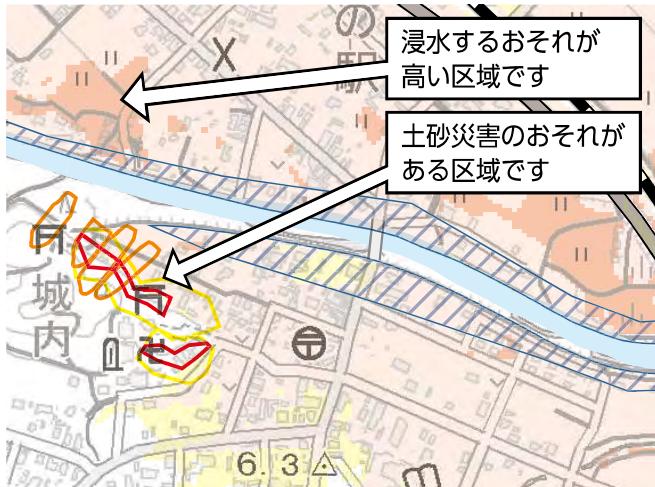
○この防災マップは、有事に備えて、目立つ場所に置いてください。

● 防災マップの見方	1	● 土砂災害について	6
● 避難情報のポイント解説	2	● 土砂災害・洪水防災マップの位置図	7
● 防災情報の伝達経路・非常時持ち出し品リスト	3	● 地区別の指定緊急避難場所・指定避難所	8
● 雨量や風速の目安	4	● 各地区的土砂災害・洪水情報	9~18
● 洪水・浸水害について	5	● 災害時の連絡方法	裏表紙

● 防災マップの見方

防災マップの見方

必ず確認してください



凡 例

水害

洪水浸水想定区域
(浸水深)

最大規模での浸水範囲・浸水深

浸水深20.0m以上
浸水深10.0~20.0m未満
浸水深5.0~10.0m未満
浸水深3.0~5.0m未満
浸水深0.5~3.0m未満
浸水深0.5m未満

土砂災害

土砂災害警戒区域：

土石流 急傾斜地 地すべり

土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域：

建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域



ハザードマップポータルサイト

検索

防災マップの見方

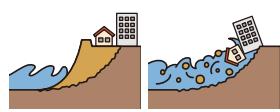
もっと詳しく知りたい人向け

次が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

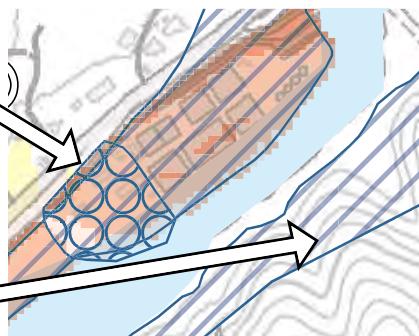
● 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないか



流速が早いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります



地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります



● 浸水深より居室は高いか

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)



警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう



「避難」とは「難」を「避」けることです
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません



避難先は小中学校・公民館だけではありません
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう

※緊急時に身を寄せる避難先は、役場が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅など様々です。
普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

※「指定緊急避難場所」は、災害の種類ごとに安全な場所が指定されています。（小中学校、公民館など）

※災害が落ち着いた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送るため、「指定避難所」に行きましょう。

● 避難情報のポイント解説

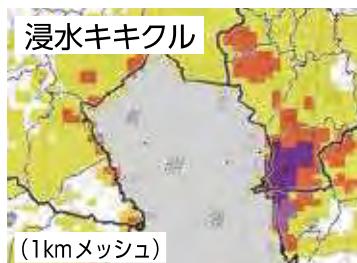
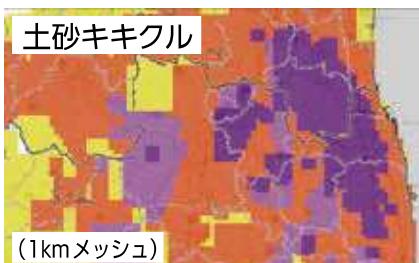
国土交通省・気象庁・都道府県から出される
河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)

■ キキクル(危険度分布)で、お住まいの地域の状況を確認しましょう

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報*が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報「キキクル(危険度分布)」を確認してください。紫色は危険度が高いことを示しています。

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら
自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知
サービス」もありますので、ご活用ください。

[キキクル](#) [検索](#)



紫：崖・渓流の近くは危険

紫：低地は危険

紫：河川沿いは危険

*市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。

■ 市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で必ず避難しましょう

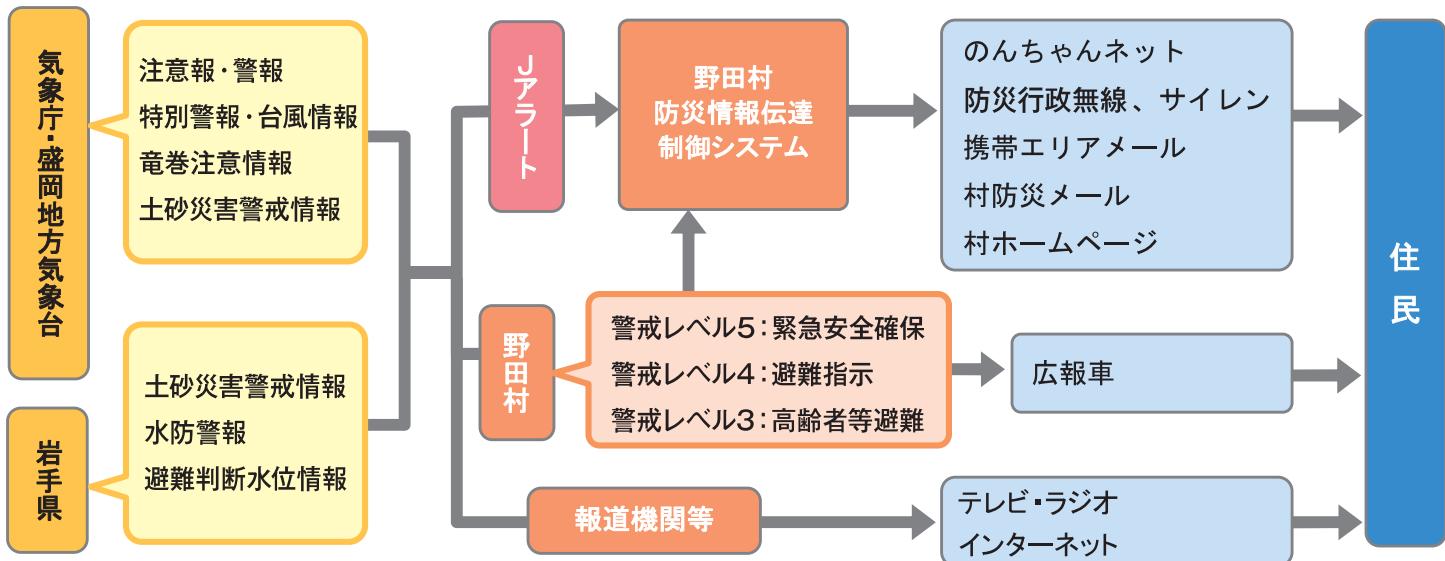
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)		
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
<警戒レベル4までに必ず避難！>						
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2 相当	氾濫注意情報	—
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当	—	—

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

● 防災情報の伝達経路

防災情報は、次のような経路で伝達されます。避難情報等を把握したら、速やかに避難してください。



防災メールの登録手順は
こちらから



防災メール登録は
こちらから



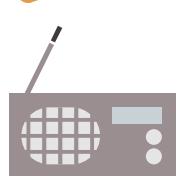
● 非常時持ち出し品リスト

【最低限必要なもの】

懐中電灯
(予備電池)



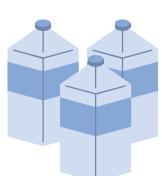
携帯ラジオ
(予備電池)



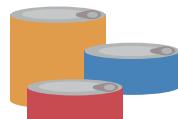
携帯電話(スマートフォン)、
携帯バッテリー



飲み物
(普段飲んでいるもの)



食料品



常備薬、救急医療品、
お薬手帳



衣服(上着、下着、靴下)
タオル



現金、印鑑、銀行通帳、
マイナンバーカード、
健康保険証、免許証、車や家の予備鍵



【できればあると良いもの】

防災ズキン、ヘルメット

ナイフ、缶切り

ウエットティッシュ

洗面用具、生理用品

家族の写真

乳幼児のいるご家庭
粉ミルク、哺乳瓶、
紙おむつ、離乳食

● 雨量や風速の目安

● 雨の降り方と災害発生の危険性

雨量と災害発生の危険性の関係について知っておきましょう。天気予報による情報や降っている雨の観察により、自分の判断で、避難を開始することが必要となる場合もあります。

予報用語	時間雨量	人の受けるイメージ	人への影響	屋内	屋外の様子	運転中
やや強い雨	10~20	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	－
強い雨	20~30	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	ワイパーを速くしても見づらい
激しい雨	30~50	バケツをひっくり返したように降る			高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロブレーニング現象)	
非常に激しい雨	50~80	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
猛烈な雨	80~	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

(1時間雨量 : mm)

● 風速と風の強さ

風が強くなると、避難が危険になる場合があります。風の強さによる避難をはじめとした屋外の危険性を把握しておきましょう。

予報用語	平均風速	およその時速	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその瞬間風速
やや強い風	10~15	~50km	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15~20	~70km	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	30
非常に強い風	20~25	~90km	何かにつかまつて立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常の速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	40
猛烈な風	25~30	~110km					50
	30~35	~125km	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。プロック壁で倒壊するものがある。		固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	60
	35~40	~140km				外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	
	40~	140km~				住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	

(風速単位 : m / 秒)

● 大雨による野田村の災害記録

年月日	内 容
S24.7.7	集中豪雨、小田川で小学児童が溺死
S55.8.27 ~ 30	長雨、床下浸水 25 戸
S56.9.25 ~ 27	長雨 (総雨量 222.5mm) 床上浸水 20 戸、床下浸水 114 戸、愛宕町崖崩れによる死者 1 名、住家 1 棟倒壊
H2.11.4 ~ 5	大雨洪水 (総雨量 117mm) 床上浸水 1 戸、床下浸水 36 戸
H12.7.8 ~ 9	床上浸水 26 戸、床下浸水 119 戸 台風 3 号 (総雨量 213mm)
H16.9.30	床下浸水住家 5 戸、非住家 1 戸 台風 21 号 (総雨量 188.5mm、時間雨量最大 29.5mm)

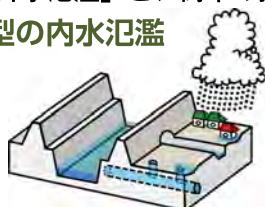
年月日	内 容
H18.12.27	床上浸水 9 戸、床下浸水 39 戸 低気圧 (総雨量 170mm、時間雨量最大 40mm)
H21.10.8	床上浸水 19 棟、床下浸水 28 棟、定置網流出等 台風 18 号 (総雨量 244.5mm、時間雨量最大 53mm)
H23.9.21	床上浸水 1 棟、床下浸水 22 棟 台風 15 号 (総雨量 233mm、時間雨量最大 29mm)
H28.8.30	全壊 6 棟、大規模半壊 4 棟、床上浸水 3 棟、 床下浸水 16 棟、一部損壊 5 棟 台風 10 号 (時間雨量最大 59.5mm)
R1.10.12	住宅半壊 8 棟、準半壊 2 棟、一部損壊 55 棟 台風 19 号 (時間雨量最大 69.5mm)

● 洪水・浸水害について

● 泛濫の種類

雨量の増加によってもたらされる泛濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水泛濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路からあふれ出す「内水泛濫」があります。

氾濫型の内水泛濫



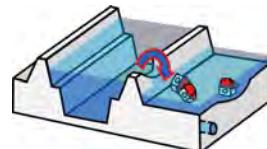
- ✓ 短時間強雨等により排水能力が追いつけず、発生する浸水。
- ✓ 河川周辺地域とは異なる場所でも発生する。

湛水型の内水泛濫



- ✓ 河川周辺の雨水が河川の水位が高くなつたため排水できずに発生。
- ✓ 発生地域は堤防の高い河川の周辺に限定される。

外水泛濫



- ✓ 河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。

河川の増水によらない



大雨警報(浸水害)の対象

河川の増水に起因

洪水警報の対象

気象庁「避難勧告等に関する諸情報の技術について」より抜粋

● 浸水ランクの目安

10~20mの区域	ビルの4階~6階が浸水する程度	
5.0~10mの区域	・2階の屋根まで浸水する程度 ・ビルの3階まで浸水する程度	
3.0~5.0mの区域	2階が浸水する程度	
0.5~3.0mの区域	1階が浸水する程度	
0.5mの区域	大人の膝までかかる程度	

国土交通省「水害ハザードマップ作成の手引き」より抜粋

● 避難行動のポイント

浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。

気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。

移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。
水中で脱げづらい紐靴など
が適している。また、氾濫水は
濁っているため、水面下が確認
できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畠の用水は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子の確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。

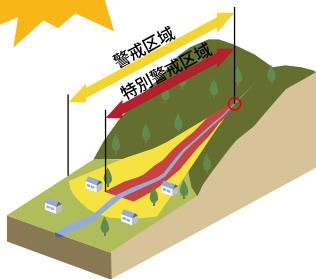


● 土砂災害について

土砂災害の前兆現象に気づく

土石流

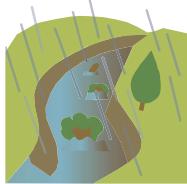
谷や斜面に溜まった石、土砂などが、水と一緒に一気に下流に押し流される現象



山鳴りや立ち木の裂ける音、石のぶつかりあう音が聞こえる



川の水が急に濁ったり、流木が混ざり始める

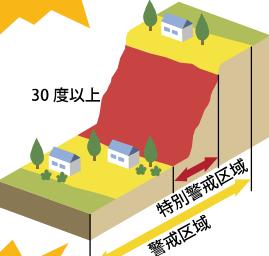


雨が降り続いているのに、川の水位が下がる



急傾斜地

地中にしみ込んだ雨水で斜面がゆるみ、突然くずれ落ちる現象



がけから水が湧き出る



がけに亀裂が入る



小石がばらばら落ちてくる

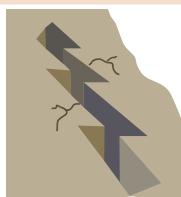


地すべり

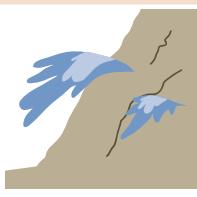
比較的緩やかな斜面で、斜面がゆっくりと下方に動きだす現象



地面にひび割れが生じる



斜面から水が噴き出す



沢や井戸の水がにごる



気づいたらすぐに避難！！

屋外の状況に注意し、声を掛け合ってみんなで避難！

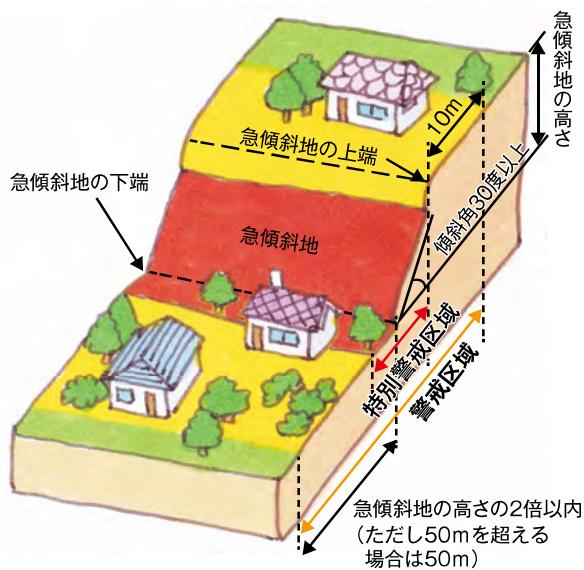
警戒区域

警戒区域とは、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。

特別警戒区域

特別警戒区域とは、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。

野田村土砂災害警戒区域等位置図はこちら



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域のイメージ
(急傾斜地の崩壊)

● 土砂災害・洪水防災マップの位置図

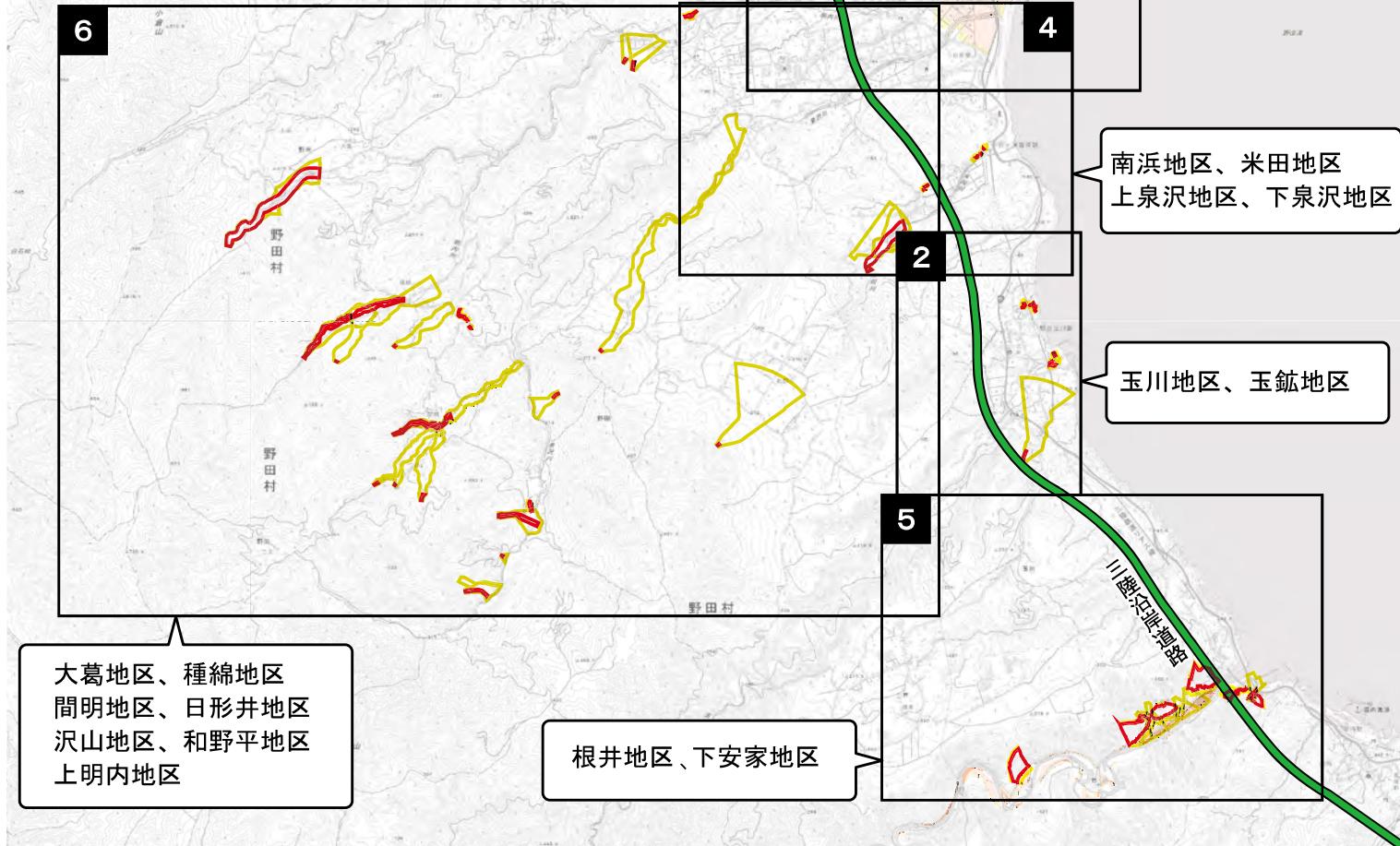
土砂災害凡例

	警戒区域	特別警戒区域
土石流		
急傾斜地		
地すべり		

洪水浸水想定区域

最大規模での浸水範囲・浸水深
浸水深20.0m以上
浸水深10.0～20.0m未満
浸水深5.0～10.0m未満
浸水深3.0～5.0m未満
浸水深0.5～3.0m未満
浸水深0.5m未満

港地区、下・中・上新山地区
北区地区、愛宕町地区
本町地区、横町地区
旭町地区、前田小路地区
門前小路地区、中平地区
下明内地区、新町地区



➡️ 土砂災害・洪水防災マップについて

9ページからの土砂災害・洪水防災マップでは、土砂災害による特別警戒区域・警戒区域、河川の氾濫等による浸水想定区域等を重ねて示しています。

- ※ 特別警戒区域・警戒区域以外にも土砂災害が発生する場合があります。
 - ※ 洪水浸水想定区域は岩手県の公表に基づき、県が指定する水位周知河川である「宇部川」と「安家川」について表示しています。なお、それ以外の場所でも洪水や浸水が起こる場合があります。

● 地区別の指定緊急避難場所・指定避難所

大雨による土砂災害・洪水

地 区	指定緊急避難場所	住 所	指定避難所	住 所
中沢 広内	広内集落農業集会所	野田37-18-1		
下新山 中新山 上新山	新山公民館	野田32-64-2	野田中学校	野田22-114-13
城内	★総合センター	野田20-14-2	総合センター	野田20-14-2
上泉沢 下泉沢	★野田小学校	野田12-61	野田小学校	野田12-61
上明内 下明内	★野田中学校	野田22-114-13	野田中学校	野田22-114-13
米田	★野田小学校	野田12-61	野田小学校	野田12-61
玉川	玉川地区活性化センター	玉川15-45-4		
根井	根井地区構造改善センター	玉川1-81-1	国民宿舎えぼし荘	玉川2-62
下安家	★国民宿舎えぼし荘 (避難経路注意)	玉川2-62		
沢山 和野平	★野田中学校	野田22-114-13	野田中学校	野田22-114-13
大葛 種綿 間明 日形井	横合地区活動促進センター	野田3-109-14		

★は、指定避難所も兼ねています

※ 土砂災害・洪水と地震・津波で、指定緊急避難場所が異なる場合があります。

【指定緊急避難場所】

緊急に一時的に避難する避難場所です。

【指定避難所】

一定期間避難生活を送る場所で、相応の規模や複数の部屋があるなどの構造条件や物資等の輸送が円滑に行える場所として指定された避難所です。

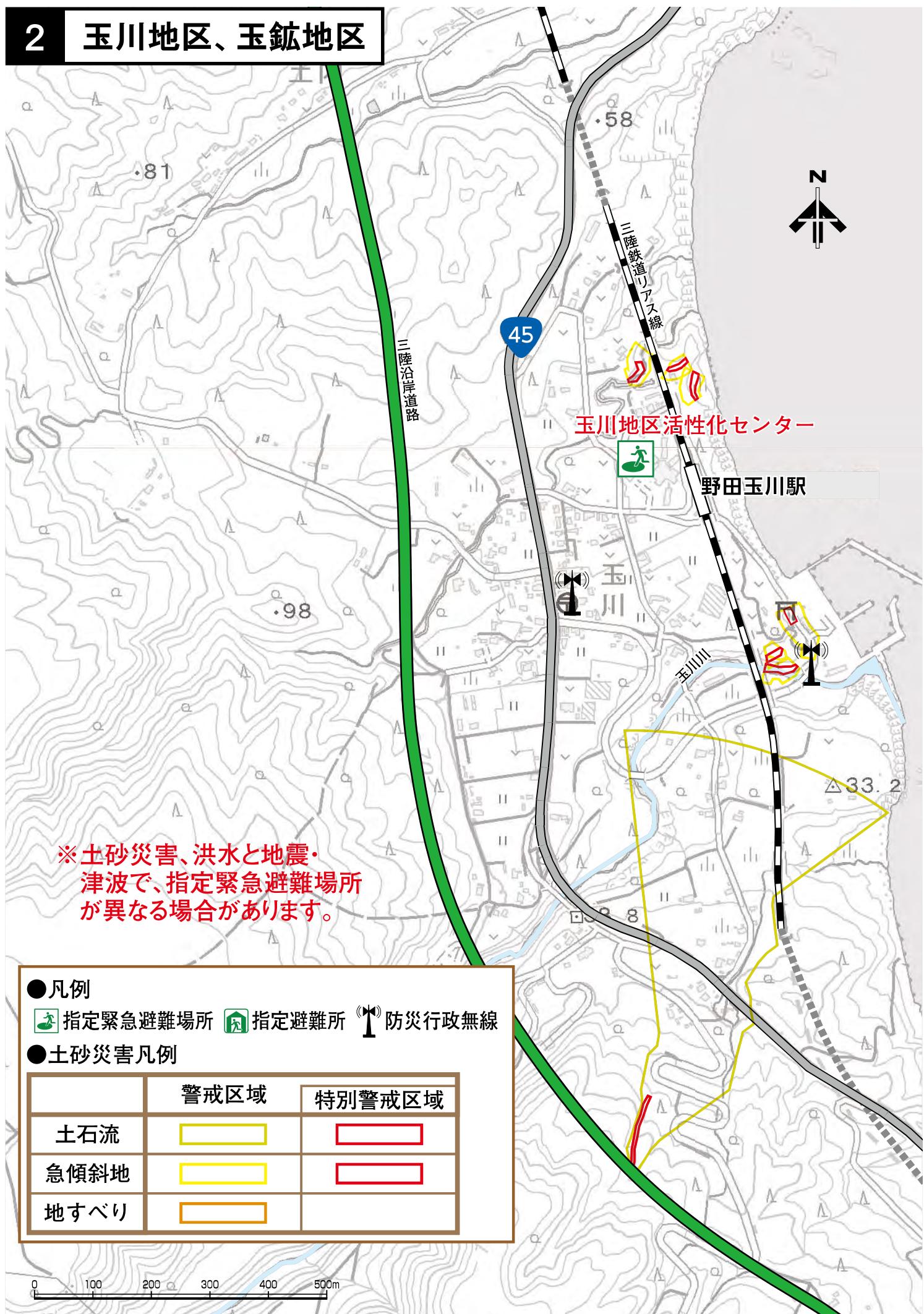
※ 大規模な災害時には、緊急に避難した場所から災害が落ち着いた後に「指定避難所」に移動していただることを基本とします。

※ 災害の状況や避難経路の安全性を確認しながら、最も安全な場所へ避難するようにしてください。

1 中沢地区、広内地区



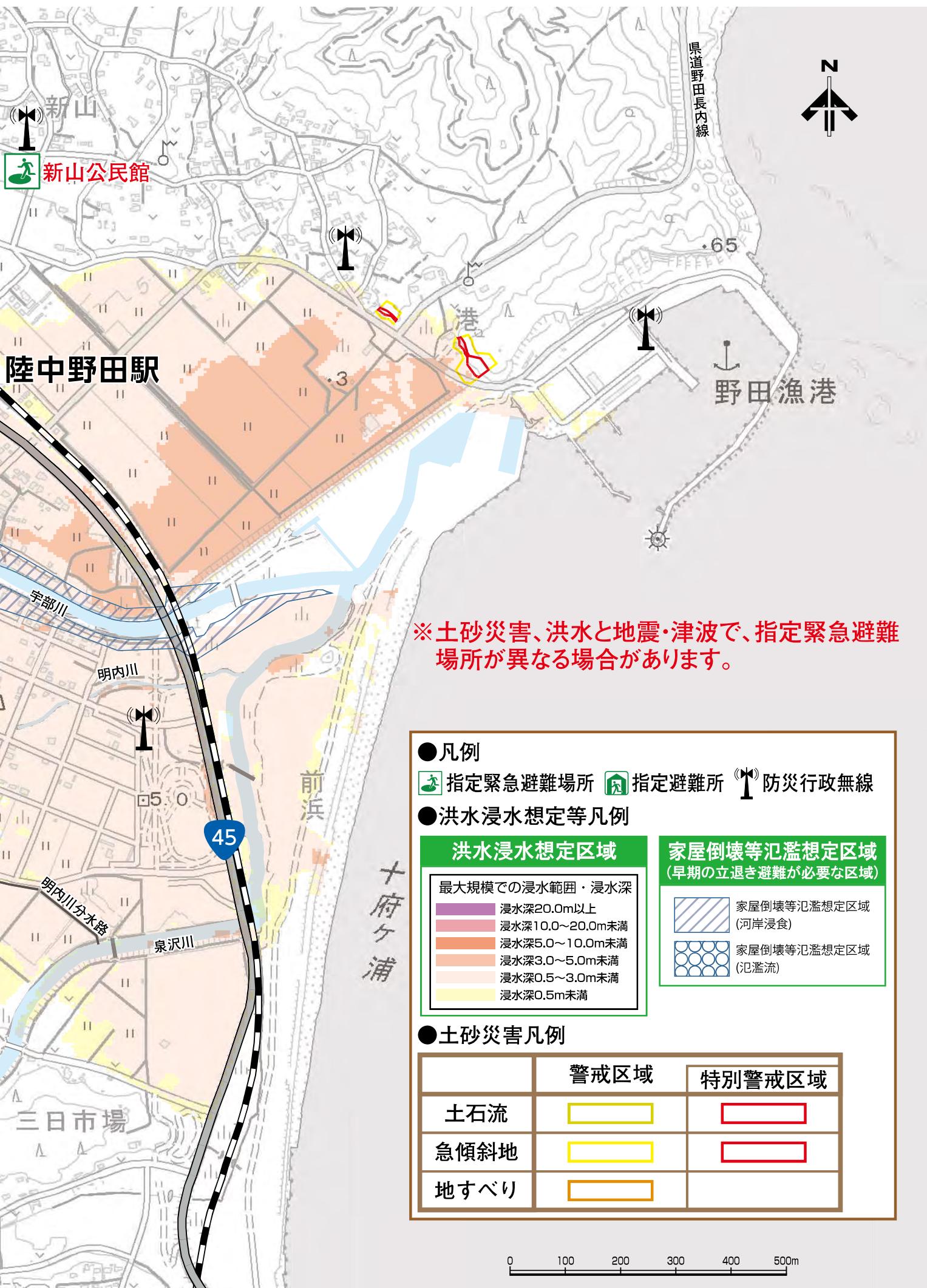
2 玉川地区、玉鉱地区



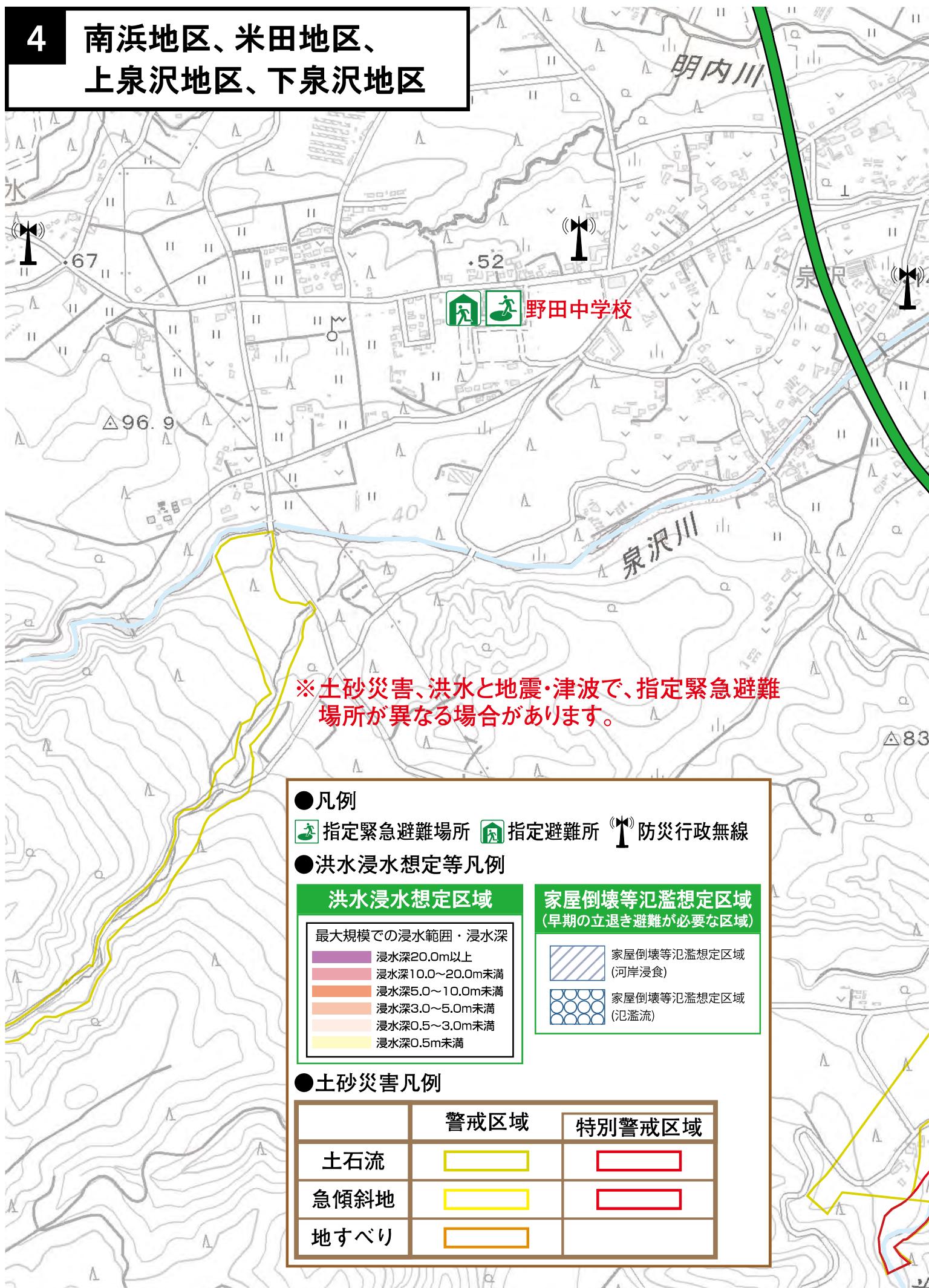
3

港地区、下・中・上新山地区 北区地区、愛宕町地区 本町地区、横町地区、 旭町地区、前田小路地区 門前小路地区、中平地区 下明内地区、新町地区





南浜地区、米田地区、 上泉沢地区、下泉沢地区





5 根井地区、下安家地区

●凡例

指定緊急避難場所 指定避難所 防災行政無線

●土砂災害凡例

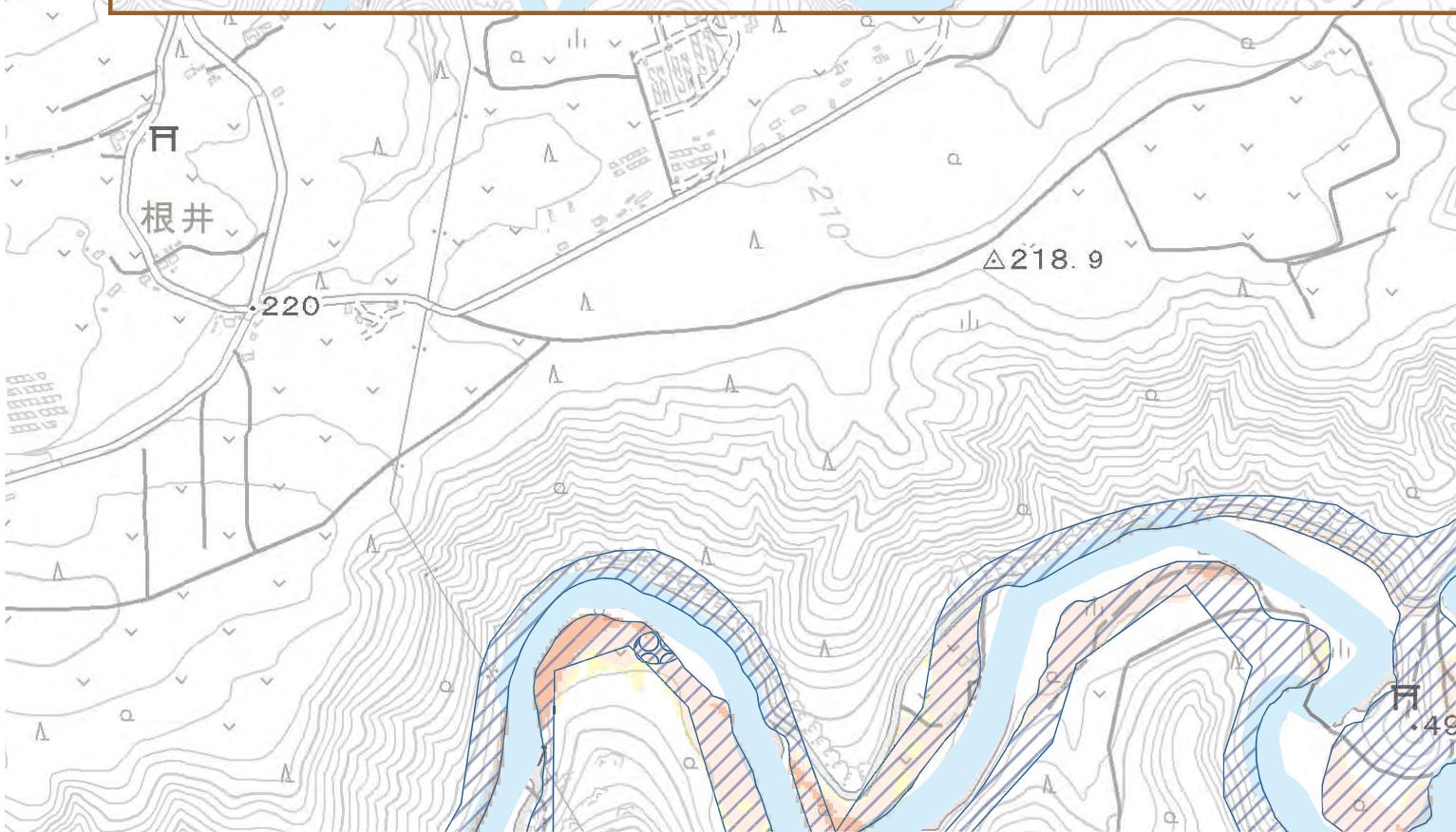
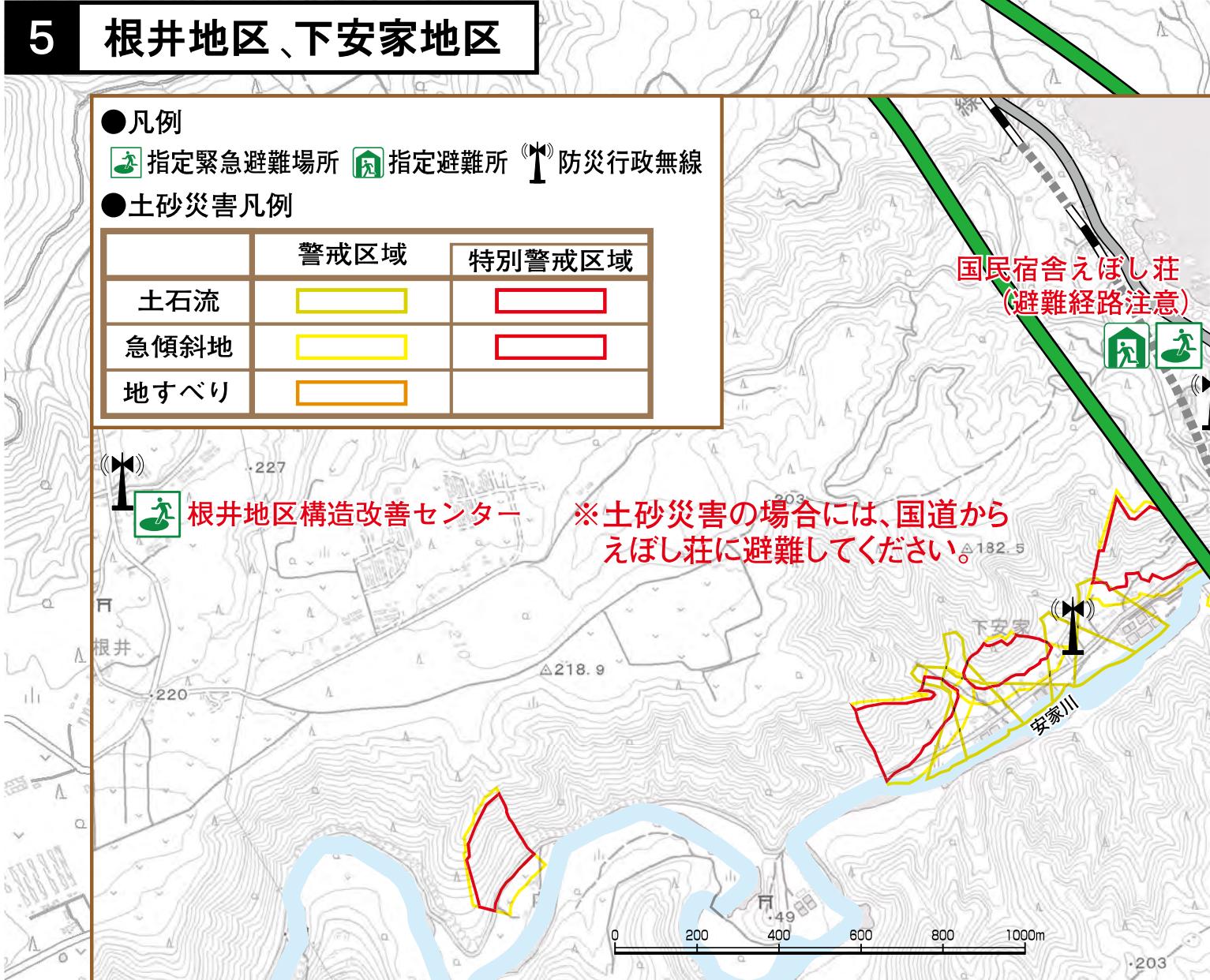
	警戒区域	特別警戒区域
土石流	■	■
急傾斜地	■	■
地すべり	■	



根井地区構造改善センター

※土砂災害の場合には、国道から
えぼし荘に避難してください。

国民宿舎えぼし荘
(避難経路注意)

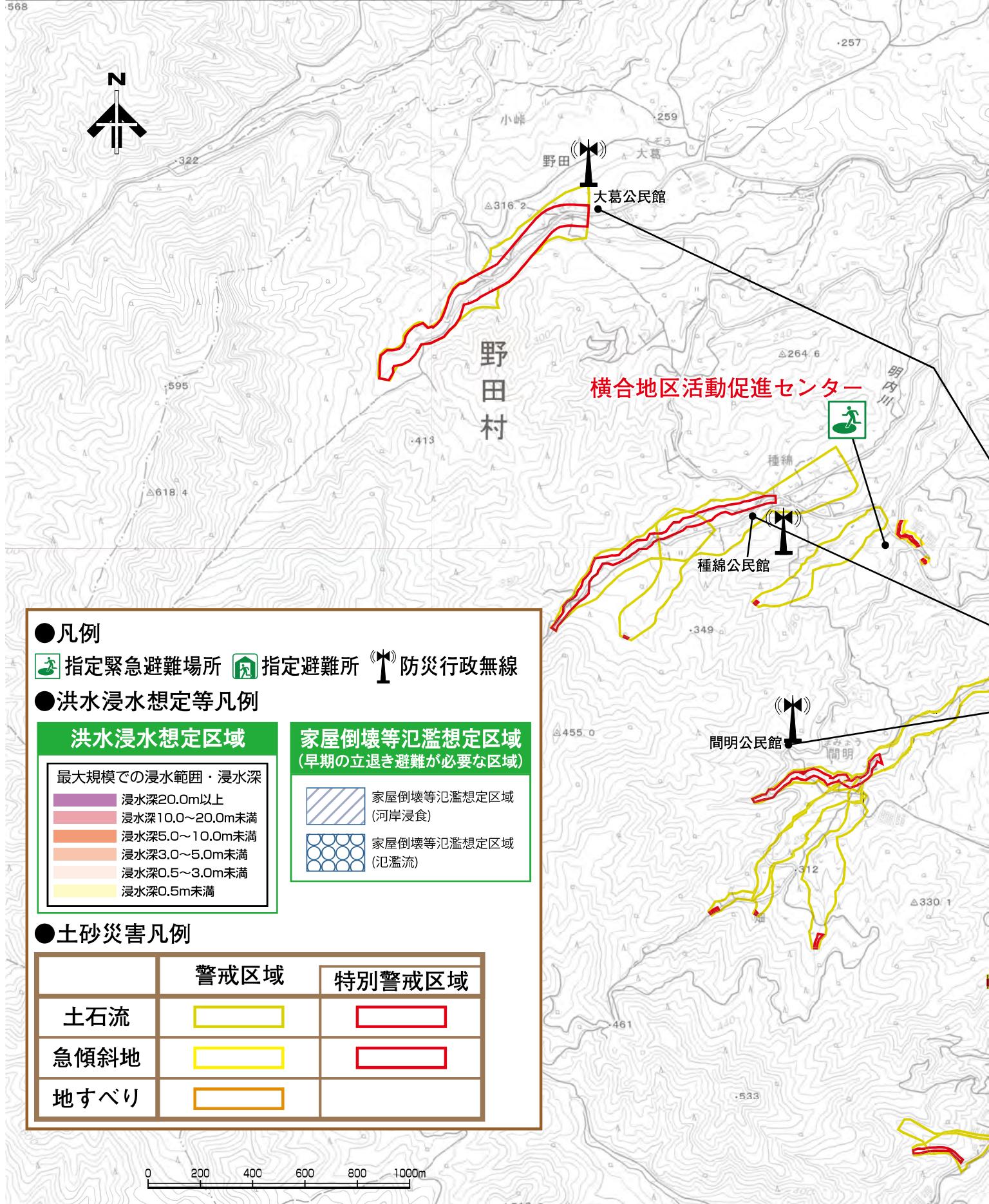


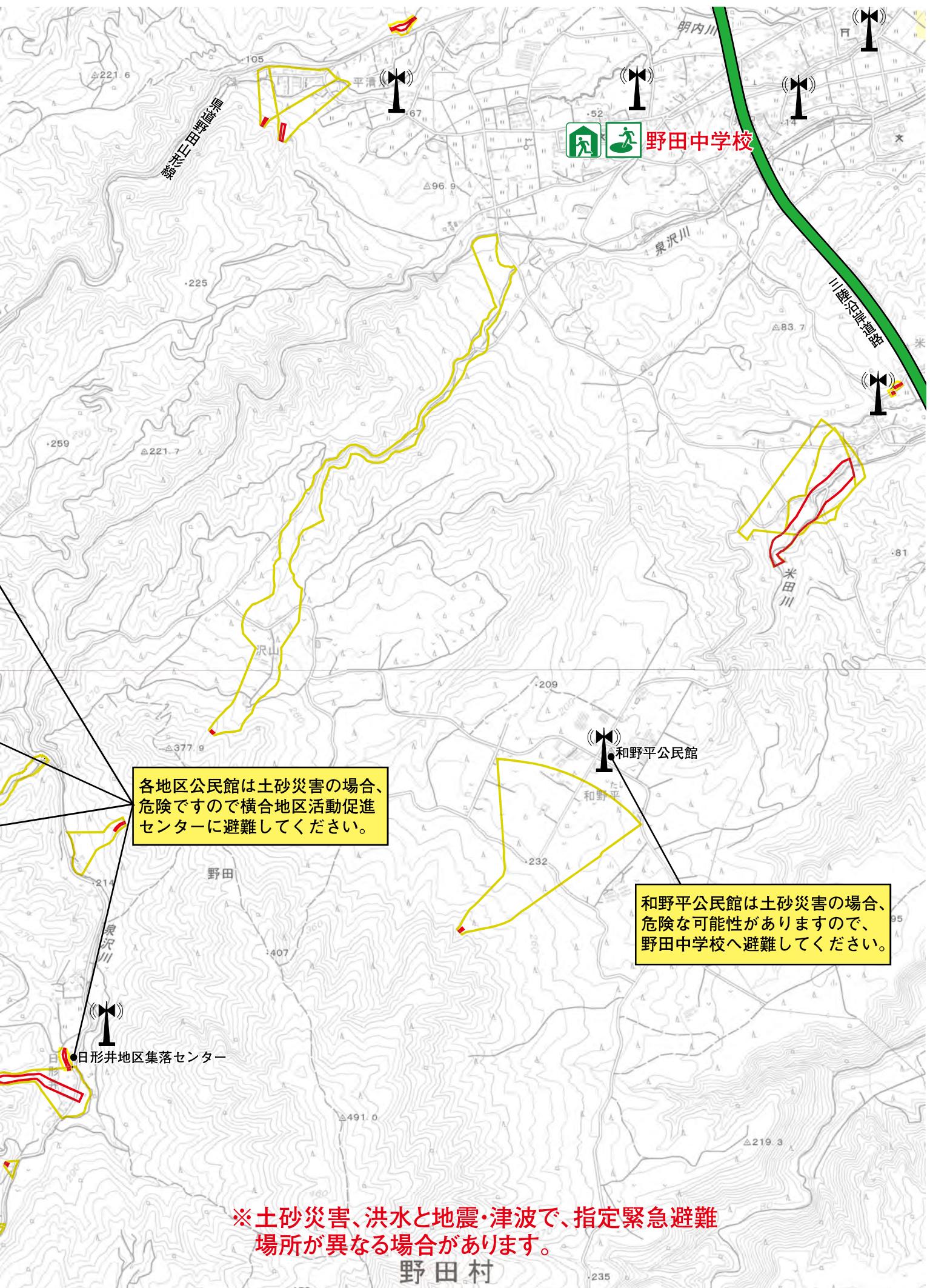


※土砂災害、洪水と地震・津波で、指定緊急避難場所が異なる場合があります。



6 大葛地区、種綿地区、間明地区、 日形井地区、沢山地区 和野平地区、上明内地区

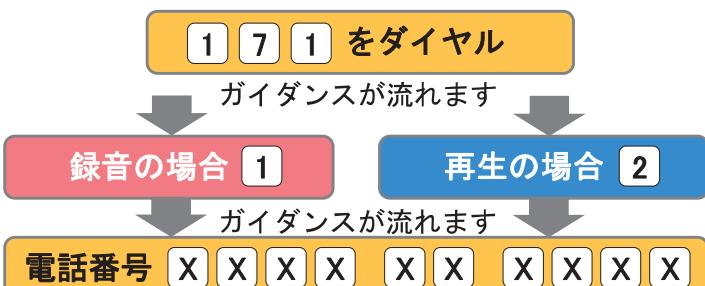




● 災害時の連絡方法

【「171」災害用伝言ダイヤル】

- ・「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。
- ・登録できる電話番号は、被災地の方の加入電話、ISDN、ひかり電話、携帯電話、IP電話になります。



【携帯電話の災害用伝言板サービス】

※固定電話は市外局番から入力してください

- ・それぞれの携帯電話の「トップメニュー」から「災害用伝言板」または「災害用安否確認」を選択してください。(スマートフォンでは事前にアプリケーションのダウンロードが必要な場合もあります)
- ・フェイスブックやツイッターでも、災害用伝言板を利用することができます。

わが家の防災メモ（土砂災害・洪水）

わが家の指定緊急避難場所	
わが家の指定避難所	
わが家の集合場所	
緊急時の連絡先	
かかりつけの病院	

家族の名前	生年月日	血液型	持病や常備薬	携帯電話 会社・学校の連絡先

防災関連機関連絡先

野田村役場	78-2111	久慈消防署	53-0119
久慈消防署野田分署	78-2119	久慈警察署	53-0110
久慈警察署野田駐在所	78-2161	岩手県立久慈病院	53-6131

令和4年3月発行

野田村 総務課

〒028-8201 岩手県九戸郡野田村大字野田 20-14
TEL : 0194-78-2111 FAX : 0194-78-3995